

無人空撮ヘリコプターのイメージ

る。7月12日まで川崎市で開かれた「テクノトランスフェア—inかわさき（先端技術見本市）」で紹介された。ジンバルを付けた空撮ヘリは10月頃にテスト浮上する予定で、空から動物などの撮影を狙うという。

カギを握るのは撮影機を固定する3軸制御のジンバル（回転台）

面が少なく刃物への負荷が小さいため、安定加工につながる。「難削材への通常の小径のタップ加工だと刃が折れることが多く、折れた工具を取り出せないこともある」と開発の背景を話す。スレッドミールリングは、軸の上下運動で完結するタップ加工に比べ、場合によっては約2倍の加工時間がかかることもあるが、医

療機器で重要となる「きれいな仕上がりが得られるという。

### 3倍強い純チタン

新素材が可能性を広げる。川本重工（横須賀工場）が電

気通信大と共同開発した純チタンは最大引張応力1153MPaと「一般的なチタンの約3倍の強度をもち、チタン合金よりも強いくらい」と医療分野への適用を睨む。耐食性に優れる純チタンは人体への

適性が高いが、これまで強度面で課題があった。同社は神奈川県奈川歯科大学などと共同で身体の中の部分に適するかを検討しているそうだ。

川島横浜市）は光造形機を利用して空洞部分の形状を忠実に再現した心臓や胃など人の臓器をつくりの医療用トレーニングモジュール「モノロイド」を

日進工具の切れ味を重視したスレッドミールリング用工具（4〜6枚刃）



ジェイ・エム・シー「monoroid」の1つ「動脈弓」。カテーテルのトレーニングに使える

昨年から製造販売。シリコン製のほか、柔らかな弾性をもつポリビニルアルコール製などがある。動脈分岐部が付

CFRP材をつなぐ接合部。ム合金が採用されたジンバル